

ヌートリア

分類：嚙歯目、ネズミ科
 学名：*Myocastor coypus*
 英名：Coypu、Nutria
 別名：海狸鼠（カイリネズミ）、沼狸（シヨウリ、ヌマタヌキ）
 原産地：南米
 侵入経緯：毛皮を取るために国内に導入

生息確認市町村：（平成20年3月時点）

伊根町、京丹後市、宮津市、与謝野町、舞鶴市、福知山市、綾部市、京丹波町、南丹市、京都市、亀岡市、八幡市、南山城村



生態	水辺に巣穴を作り繁殖します。泳ぐことは得意ですが、地上での行動は鈍いです。夜行性ですが、昼間も行動することがあります。
特徴	頭胴長は成獣で雌雄とも50～70cm、尾長は35～50cmです。 （見分け方）：姿は巨大なネズミです。オレンジ色の大きな前歯や、長い尾が特徴です。
被害状況	大食漢であり、イネなどの農作物を食べるため、農業被害を引きおこします。また、ドブガイなど淡水産二枚貝を多量に食害していることが報告されており、タナゴ類への影響が懸念されます。
防除対策	ニンジンなどをえさにした罠で捕獲できます。また、えさを与えると、その場所に定着し、爆発的に増えるため、えさを与えてはいけません。

（監修者） 村上興正